

SOURCE DATA 作成仕様書		業務名 その他(給与)	プログラム名 JAN0	作成期限 H6.11.末	
※コマンドトークンス名	※バッチプロテクション	作成者 給与課	作成年月日 H6.11.15 (更新日: R03.2.12)		No. 1 / 1

原票名	※スタンダードジョブ名	※バッチ名
給与所得者の保険料控除申告書	JAN0	
給与所得者の基礎控除申告書 兼 給与所得者の配偶者控除等申告書 兼 特定親族特別控除申告書 兼 所得金額調整控除申告書		
給与所得者の住宅借入金等特別控除申告書		

処	職員コード以外の項目は、赤○印のある項目をパンチ		1. OUTPUT DEYICE CMT
	数字項目で、桁オーバーの場合は、ALL 9 を入力し、付箋		2. RECORD SIZE 167 BYTE
	「給与所得者の配偶者特別控除申告書」の右下欄外に記入があり赤○印があれば、入力		3. BLOCK SIZE 1460 BYTE
	H19. 11. 17変更 NO. 5の「長期損害保険料」を「地震保険料」に項目名変更 NO. 6の「短期損害保険料」を「旧長期損害保険料」に項目名変更		4. FIXED LENGTH?
	H21. 10. 27変更 NO. 14の「住宅借入金等の年末残高(1回目)」を追加 NO. 15の「適用区分(1回目)」を追加 NO. 16の「居住開始年月日」を追加 NO. 17の「住宅借入金等の年末残高(2回目)」を追加 NO. 18の「適用区分(2回目)」を追加 NO. 19の「居住開始年月日」を追加		5. BLOCKED RECORDS?
	H24. 7. 1変更 出力媒体を「CMT」から「CD-RW」に変更 出力形式は固定長出力 1レコード毎に改行を行う 出力ファイル名は「HOO保険料控除申告書パンチデータ」 NO. 5～NO. 20の「地震保険料」～「余白」をNO. 8以降へ引下げ NO. 3の「生命保険料」を「新生命保険料」に項目名変更 NO. 4の「個人年金保険料」を「旧生命保険料」に項目名変更 NO. 5の「介護保険料」を追加 NO. 6の「新個人年金保険料」を追加 NO. 7の「旧個人年金保険料」を追加		6. CHARACTER COUNT
			7. PADDING CHARACTER
			8. HEADER LABEL /, NL, 2

理 条 件	<p>H25. 9. 1変更 NO. 3～NO. 7の「新生命保険料」～「旧個人年金保険料」の桁数を「7」→「8」へ</p> <p>H30. 8. 27変更 原票「給与所得者の保険料控除申告書兼給与所得者の配偶者特別控除申告書」から「給与所得者の保険料控除申告書」と「給与所得者の配偶者特別控除申告書」に変更 NO. 13～NO. 23の「(配偶者特別控除)／申告」～「余白」をNO. 15以降へ引下げ NO. 13の「(配偶者)／フリガナ」を追加 NO. 14の「(配偶者)／氏名」を追加</p> <p>H30. 10. 29変更 NO. 25の「余白」を「配偶者更新フラグ」に変更し、1固定とする</p> <p>H30. 11. 02変更 NO. 25の「配偶者更新フラグ」を0固定とするよう変更</p> <p>H30. 11. 08変更 NO. 15の「(配偶者特別控除)／申告」について、1以外の場合は空白ではなく必ず0とするよう変更。</p> <p>R03. 2. 12変更 税制改正に伴い「給与所得者の基礎控除申告書 兼 給与所得者の配偶者控除等申告書 兼 所得金額調整控除申告書」に変更。 職員コードのみの場合もレコードは作成する。</p> <p>R7. 11. 4変更 税制改正に伴い「給与所得者の基礎控除申告書 兼 給与所得者の配偶者控除等申告書 兼 給与所得者の特定親族特別控除申告書 兼 所得金額調整控除申告書」に変更。</p>	
-------------	---	--